

【第2回 質量分析トレーニングコースのお知らせ】

横浜市立大学、国立がん研究センター、北里大学は、文部科学省の先端研究基盤共用促進事業「共用プラットフォーム形成支援プログラム」において、研究者がタンパク質の質量分析を行うことができる臨床質量分析共用プラットフォーム(MS共用PF)を構築し、これをわが国のプロテオーム研究の推進に役立てたいと考えています。このたび本共用プラットフォーム活動の一環として、最新のタンパク質質量分析法に関する第2回トレーニングコースを開催することになりました。本共用プラットフォームにおけるタンパク質の質量分析とその周辺技術に関心をお持ちの皆様のご参加をお願いいたします。

- 日 時： 平成29年10月23日（月）9:00～18:00
会 場： 横浜市立大学先端医科学研究センター(福浦キャンパス) 5階 P504会議室
〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦3-9
<http://www.yokohama-cu.ac.jp/amedrc/access/index.html>
横浜新都市交通シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩5分
主 催： 臨床質量分析共用プラットフォーム
(横浜市立大学、国立がん研究センター、北里大学)
<http://www.masspf.jp/>
後 援： サーモフィッシャー, ABサイエックス, 東レリサーチセンター, スクラム, KMデータ,
メディカルプロテオスコープ
定 員： 20名 (希望者が多い場合、選者があります。)
対 象： 大学・研究機関・企業の研究者や大学院生等
参加費： 無料
内 容：
1) 講 義 (平野 久, 山田哲司, 尾野雅哉, 小寺義男, 木村弥生 他)
試料調製、質量分析、データ解析、パスウェイ解析、臨床応用 など
2) デ モ
血液高濃度タンパク質の低減処理、血液非変性ペプチドの濃縮、リン酸化ペプチドの濃縮
質量分析装置(Orbitrap MS, Q-ToF 5600, Triple-Q 5500)による分析
データ解析ソフトを用いたペプチド定量解析、Keymolnetを用いたパスウェイ解析など
3) 懇親会を兼ねた分析個別相談会

参加申し込み：下記URLより、申込フォームに必要事項を記載してご送信下さい
申し込み締切：10月10日（火）17:00
<https://goo.gl/9h6tfu>

お問い合わせ先：
事務局 香川裕之（横浜市立大学 先端医科学研究センター）
* お問い合わせには、下記フォームをご利用下さい
<https://goo.gl/nftQyY>

2017年9月12日

MS共用PF担当

横浜市立大学 平野 久
国立がん研究センター 山田哲司
北里大学 小寺義男



日本電気泳動学会企業会員

アドバンテック東洋（株）	癸巳化成（株）	コスモ・バイオ（株）
（株）島津製作所	ナカライテスク（株）	（株）ナード研究所
日本エイドー（株）	バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株)	（株）ヘレナ研究所
和光純薬工業（株）	(株)クリムゾン インタラクティブ ジャパン	
シャープライフサイエンス（株）		

【日本電気泳動学会電子メール通信】は、日本電気泳動学会会員の皆様に配信しています。

【日本電気泳動学会電子メール通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。

ご意見を【日本電気泳動学会電子メール通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問い合わせ】は、本会事務局（secretariat@jes1950.jp）宛に
お願いいたします。